

前回の議事録

1. 第2回 H30年度イベント実行委員会（平成30年4月19日）・・・P2
2. 第29回維持管理・環境管理専門委員会（平成30年4月24日）・・・P4

第2回 H30 年度イベント実行委員会 議事録

- 日時 : 平成 30 年 4 月 19 日 (木) 14:00~16:00
- 場所 : 上尾市文化センター305
- 資料
 - ・ 資料-1. 平成 30 年度広報活動
 - ・ 資料-2. 3 地区合同イベントの実施状況
 - ・ 資料-3. 春の自治体イベント出展計画について
 - ・ 資料-4①. 中池写真撮影イベント計画について
 - ・ 資料-4②. 中池写真撮影イベントチラシ(案)
 - ・ 資料-5. 秋のイベント計画について
 - ・ 参考資料 1. 第 1 回 H30 年度イベント実行委員会議事録
 - ・ 参考資料 2. H30 年度イベントスケジュール

【議事結果】

- ① 河川敷でライブを行う場合は、主催で行うのではなく、他主体が行う企画に後援という形で参画することが現実的である。
- ② かわじま輪中の郷ウォーキングでは堤防上を歩く人を中池管理用通路に呼び込むため、着ぐるみの使用を検討する。
- ③ 中池写真撮影イベントについては、参加者が撮影した写真の保存先をクラウドにアップロードして共有できる仕組みを検討する。
- ④ 中池写真撮影イベントについては、イベントを継続的に行うため、当日参加制にし、運営スタッフは必要最小限の人数で対応する。
- ⑤ 秋のイベントについては、中池管理用通路を活用して昆虫観察と植生管理作業を実施する。
- ⑥ サイサン環境保全基金への助成金申請については、物品の購入だけでなく、散策マップの作成等に活用する方針で検討を行う。

【主な議事内容】

◎協議事項

●平成 30 年度広報活動について

- ・ 河川敷でのライブを行うのであれば、自然再生協議会にはライブの運営技術が無いため、専門業者や団体等が主体になる必要がある。ライブの開催の可能性は専門業者でないと判断できない。
- ・ 雨だとライブを中止にせざるを得ず、リスクが高い。
- ・ 無料で来ていただけるアーティストが良い。
- ・ 別の場所で類似のイベントを実施したことがあるが、来場者を集めることが難しい。主催で行うのではなく、他主体が行う企画に後援という形で参画することが現実的である。

●3 地区合同イベントの実施状況

- ・ リピーターは2名（申込段階では4名）だった。
- ・ 春休みの時期はサクラソウやノウルシの開花が見られる一方で、新年度の準備等が重なり親子の参加者が集まりにくい傾向がある。
- ・ 維持管理作業を伴うイベントについて、若い人に参加いただくためには、東北の被災地のボランティアのようにその成果が目で見えて実感できることが重要である。そういった観点から企画を行っていく必要がある。

●春の自治体イベント出展計画について

- ・ かわじま輪中の郷ウォーキングは堤防の上を歩く人を中池管理用通路へ呼び込む必要がある。着ぐるみ（北本自然観察公園のカルガモくん）の使用を検討する。
- ・ 昨年は下流から上流へ向かう参加者が多かったことから、テントは下流側の管理用通路入口に設置する。

●中池写真撮影イベント計画について

- ・ 参加者が撮影した写真の保存先をクラウドにアップロードして共有できる仕組みを検討すること。
- ・ 運営に多大な労力が必要となる場合、イベントが継続的に行われないため、運営は事務局案よりもシンプルにすること。具体的には、事前申し込み制ではなく当日参加制にする。また、スタッフも引率1名程度と受付・安全管理に必要な事務局の数人程度で最小限とする。
- ・ 募集チラシのデザインは再考すること。
- ・ 募集チラシにマムシやスズメバチについて記述すると参加者が来ないことがあるので削除し、注意すべき事項については、当日スタッフが参加者に伝える。
- ・ SNSで発信する際のハッシュタグは「#荒川太郎右衛門自然再生地」とする。

●秋のイベント計画について

- ・ 中池管理用通路を活用して昆虫観察と植生管理作業を実施する。
- ・ 今年も桶川西高校放送部に参加いただくために交渉を行うこと。
- ・ サイサン環境保全基金への助成金申請については、物品の購入だけでなく、散策マップの作成等に活用する方針で検討を行う。

以上

第29回 維持管理・環境管理専門委員会 議事録

●日時：平成30年4月24日（火）13:00～15:00

●場所：上尾市文化センター303 集会室

●資料

- ・ 資料－1. 前回の議事録
- ・ 資料－2. 第47回協議会の議事録（案）
- ・ 資料－3. H30年度維持管理計画について
- ・ 資料－4. H30年度工事について
- ・ 資料－5. マーケットリサーチについて
- ・ 参考資料1. H30年度維持管理スケジュール

【議事結果】

- ① 外来種を抜き取った箇所に在来草本を植える取組を維持管理手法の選択肢とする。
- ② 総合案内板04の設置場所の変更について了承する。
- ③ サイクリング利用者への注意喚起について、看板を多く設置することは景観上望ましくない。歩行者と自転車利用者の共存を目指して、戦略的な対応（手順）を検討する。
- ④ 5月の維持管理作業の際に、下池掘削予定地の樹木を確認する。
- ⑤ 生涯学習を行っている団体に維持管理作業に参加していただくための調整を行う。
- ⑥ 企業等への働きかけは、堂本委員長と事務局で日程を調整し、都合がつく委員が参加する。

【主な議事内容】

◎協議事項

●前回の議事録について

（質疑応答なし）

●第47回協議会の議事録（案）について

（質疑応答なし）

●H30年度維持管理計画について

- ・ 中池管理用通路入口に設置されている不法投棄防止バリケードは、今後撤去予定である。
- ・ 外来種を抜き取った箇所に在来草本を植える取組を維持管理手法の選択肢とする。
マーケットリサーチの観点に立つと、企業にとっては、外来種を駆除するだけより、在来草本群落を再生する方がわかりやすい成果となる。

●H30年度工事について

- ・ 総合案内板04の設置場所の変更について了承する。
- ・ サイクリング利用者への注意喚起について、看板を多く設置することは景観上好ましくない。

歩行者と自転車利用者の共存を目指して、太郎右衛門自然再生地の散策マップを作成し、関係機関（サイクリング道路管理者等）に散策マップを紹介するなど、戦略的な対応（手順）を検討する。

- ・ 5月の維持管理作業の際に、下池掘削予定地の樹木を確認する。

●マーケットリサーチについて

- ・ 生涯学習を行っている団体（「彩央会」や「彩の国環境大学修了生の会」等）に維持管理作業に参加していただくための調整を行う。多くの団体は、年度末に次年度の計画を決定するため、年末頃、平成31年度に向けた各団体への働きかけの実施を、マーケットリサーチの計画に含める。
- ・ 企業に対しての提案は粘り強く続けていく。期間を空けることで、担当者が変わり、会社の方針が変わることがある。
- ・ 企業等への働きかけについては、H30年度マーケットリサーチ計画の時期を前倒し、5～6月に実施する。堂本委員長と事務局で日程を調整し、都合がつく委員が参加する。
- ・ 太郎右衛門自然再生地の写真（パワーポイント）や映像等を用いて、企業等の説明時に示すことができるとよい。他の資料としては、荒川太郎右衛門地区自然再生事業のパンフレットやエコプロ2017時に作成した資料（修正版）等を準備する。

以上